

研究種目：基盤研究（B）

研究期間：2006～2009年

課題番号：18401010

研究課題名（和文） アフリカ女性の社会進出のための伝統の取捨選択に関する研究

研究課題名（英文） Gender and Development in the African Context: Women's Choice to Achieve Full Participation in Traditional Societies.

研究代表者 戸田真紀子

研究分野：人文学 A

科研費の分科・細目：ジェンダー

キーワード：ジェンダー、開発、伝統文化、教育、言語

1. 研究計画の概要

本研究では、ケニアにおける開発と伝統文化の関係を、女性の社会進出にターゲットを絞って考えていく。女性が社会進出を果たすためには、就学することがまず第一歩であるが、「女子には教育はいらない」という考えがまだ根強く残っており、さらには、せっかく就学しても、「早婚」のために中退を余儀なくされる女子学生があつとを絶たない。この伝統文化の中のジェンダー格差を当事者である女性たちがどのように排除しようとしているのか、その取捨選択のメカニズムを明らかにするのが第一の目的である。また、教育の機会を奪われた女性は、公用語や国語を十分に使いこなすことができない。民族語は民族のアイデンティティの体現である一方、公用語や国語の習得は、社会進出を果たす上での必須条件である。教育の機会を奪われ、民族語しか話すことができない女性たちが、社会進出を果たすことができるだろうか。農村部における開発プロジェクトの中で、民族語だけを話す女性たちがどのような地位におかれているのかを調査し、社会開発と言語選択の問題をジェンダーの視点から明らかにすることが、2つめの目的である。

2. 研究の進捗状況

戸田はこれまで、ケニア共和国北東州ガリッサ県において聞き取り調査、アンケートなどを行い、ソマリ人の伝統・因習が女性の社会進出にどのように関わり、女性たちがそれにどのように対処しているかを読み解いてきた。

宮本はこれまで、ケニアのろうの女性から聞き取り調査を行い、一人一人のライフヒストリーを細かく調べることにより、それぞれの

教育の履歴と社会進出との関係を洗い出すことを行ってきた。

3. 現在までの達成度

おおむね順調に進展している。

戸田の研究成果は、2006年11月の論文、2007年2月の共著、2008年5月の日本アフリカ学会第45回学術大会での報告、及び8月に出版した単著で明らかにした

宮本の聞き取り調査の結果は、2007年7月の世界ろう連盟と2008年5月の日本アフリカ学会学術大会において発表をした。

4. 今後の研究の推進方策

戸田は、今年5月の日本アフリカ学会第46回学術大会、及び10月の日本国際政治学会2009年研究大会において、昨年度の調査の成果を報告し、論文を作成する。

宮本は、今年度中に、これまで口頭発表したものを論文の形に結実させて成果を報告する予定である。

5. 代表的な研究成果

（研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線）

〔雑誌論文〕（計2件）

戸田真紀子「アフリカの女性性器切除と男性優位社会の秩序」『グローバル化と社会的「弱者」』『平和研究』第31号）日本平和学会 89-111頁

Ritsuko Miyamoto, Nickson Kakiri (in press)

) “How do Deaf women in Kenya view empowerment by education?” in The Proceedings of the 15th World Congress of the World Federation of the Deaf. Madrid, Spain.

〔学会発表〕（計 3 件）

戸田真紀子

「アフリカ女性の社会進出のための伝統の取捨選択に関する研究（1）：女子高校生の教育の機会を確保するプロジェクトについて」日本アフリカ学会第 45 回学術大会
2008 年 5 月 24 日 龍谷大学 深草学舎

宮本律子

1. “How do Deaf women in Kenya view empowerment by education?” at the 15th World Congress of the World Federation of the Deaf. Madrid, Spain.

2. 「アフリカ女性の社会進出のための伝統の取捨選択に関する研究（2）：ケニアのろうの女性と教育」日本アフリカ学会第 45 回学術大会 2008 年 5 月 24 日 龍谷大学 深草学舎

〔図書〕（計 2 件）

戸田真紀子

1. (単著)

『アフリカと政治』

御茶の水書房

2008 年、212 ページ

2. (共著)

『国際法・国際関係とジェンダー』

東北大学出版会

2007 年、担当部分：313－331（19 頁）

〔産業財産権〕

○出願状況（計 0 件）

○取得状況（計 0 件）

〔その他〕

宮本律子

新聞記事

秋田さきがけ新報 2009 年 1 月 25 日朝刊記事「文系のチカラ：秋田大×高橋大輔 『多言語のアフリカは伝え合いでも閉じていない』」